

# せんだいゼロカーボン 市民会議2026について

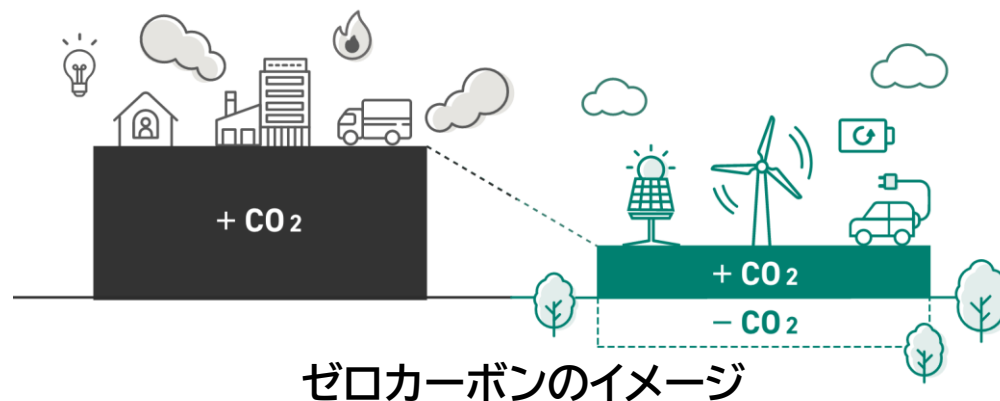
仙台市環境局脱炭素政策課

# そもそも脱炭素、ゼロカーボンとは？

脱炭素: 地球温暖化の要因である  
温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を削減する

(=カーボンニュートラル)

ゼロカーボン: 温室効果ガスの排出量と森林等からの  
吸収量を同じにすることで、差し引きをゼロにすること



## 仙台市の目標達成に向けて

目標：2050年までにゼロカーボンを実現する



現状：市の取り組みだけでは達成が困難



対応：市民の皆さまに脱炭素を  
「自分ごと」として捉えてもらい、  
日常生活で実践してもらう

## この会議の手法

気候市民会議：無作為抽出（くじ引き）で社会の縮図を構成するように集まった一般市民が、専門家等からの情報提供をもとに話し合いを重ね、気候変動対策を提言する、市民参加の手法

2019年～20年にフランスやイギリスで開催され、日本でも複数の自治体で実施している

実は・・・

仙台市でも令和5年度に一度実施しています！

ゼロカーボンの実現に向け、市民自らの視点で

・「脱炭素に向けて一人ひとりができること」

・「行動を広めていくための方法」

の提案を目的に、全5回で実施しました。



前回の市民会議との違いは？

## 前回の市民会議との違い

|         | 前回                                             | 今回                                |
|---------|------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 会議の回数   | 5回                                             | 3回                                |
| 話し合うテーマ | ①家の中の脱炭素<br>②人・モノ・移動での脱炭素<br>③外出先              | <u>「住まい」の脱炭素</u><br>＝生活に身近なところが中心 |
| 対象      | 「自分(市民)」、「企業・団体」、<br>「行政」それぞれの立場で<br>取るべき行動や役割 | <u>「自分(市民)」</u> だったら<br>取り組めそうなこと |

## この会議の目標

- ①気候変動、および脱炭素行動について学ぶ
- ②住まいの分野で自分ができそうなことを考え、話し合う
- ③↑について、自分だったら周りの人(家族、友人など)に  
どう発信していくか考え、話し合う
- ④【②、③】について、全体で発表する

---

発表内容は市のホームページなどで広く発信します

## 会議参加者の皆様

市民の中から**2,500人**を無作為に抽出し案内送付



応募いただいた中から、仙台市の  
人口構成(居住区、年代、性別)を考慮し**50名**を選定

事前に行ったアンケートの回答をもとにグループを作成

# スケジュール

## 第1回

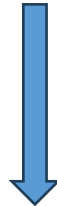
気候変動・脱炭素  
について学ぶ



10/18

## 第2回

取り組みと発信  
方法について議論



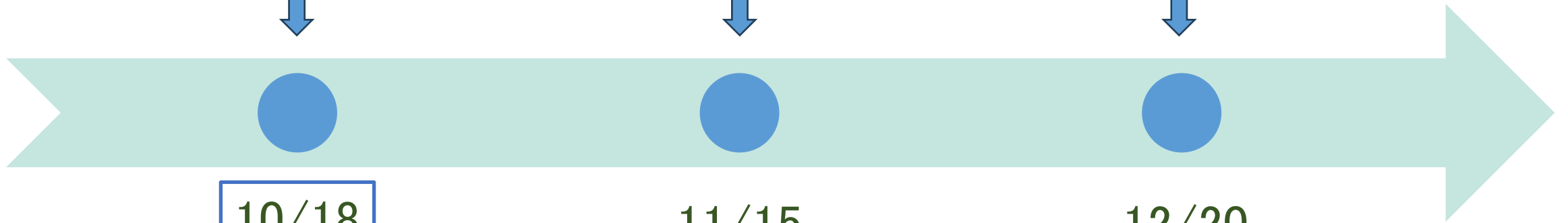
11/15

## 第3回

まとめと  
全体発表



12/20



## 皆様へのお願い

- ・無作為抽出で集まってもらったので、環境への関心や知識は人それぞれです。  
環境の知識が全くなくても問題ないので、積極的に発言してください
- ・どんなささいな疑問でも、気づいたことはワークシートにメモしましょう
- ・話し合いの時はお互いへの思いやりを持ちつつ、楽しく会話しましょう

これからよろしくお願いします